

## 電気通信大学 平成20年度シラバス

授業科目名	地域協働システム論		
英文授業科目名	Community Collaboration System		
開講年度	2008年度	開講年次	
開講学期	後学期	開講コース・課程	博士前期・後期課程
授業の方法	講義	単位数	2
科目区分	電気通信学研究科-人間コミュニケーション学専攻-専門科目		
開講学科・専攻	人間コミュニケーション学専攻		
担当教官名	福田 豊		
居室	西6-509		

公開E-Mail	授業関連Webページ
fukuda@hc.uec.ac.jp	

<b>【主題および達成目標】</b>
<p>市場経済システムは、現在、大きな転換期にある。市場原理主義の浸透がグローバル化という形で進行する一方で、非市場的領域の影響が大きくなり始めているからである。予期される新たな社会システムにおいては、コミュニティの果たす役割がきわめて大きい。その中に存在する「コミュニティ・リソース」（ソーシャル・キャピタルという場合もある）が、そのアクティビティに大きな関連をもつと同時に、市場領域のパフォーマンスにも重要な影響を与える。この講義では、近未来社会システムにおける非市場領域と市場領域の役割ないし関連性を分析し、コミュニティ・リソースの開発・形成に必要な条件を明らかにする。</p>

<b>【前もって履修しておくべき科目】</b>
特になし

<b>【前もって履修しておくことが望ましい科目】</b>
基礎情報学(学部) 生活情報化論(学部) 情報経済システム論特論第一

<b>【教科書等】</b>
特に定めないが、参考書として以下のものがある。 福田豊『情報化のトポロジー』御茶の水書房

## 電気通信大学 平成20年度シラバス

### 【授業内容とその進め方】

講義は以下の構成を予定している。

- 1 市場なるものと封建社会の基礎構造
- 2 市場と非市場の関係
- 3 市場主義の反省
- 4 CSRの高まりが意味すること
- 5 コミュニティ・リソース(ソーシャルキャピタル)

講義の他、学生諸君には提供する資料についてレポートしてもらい、それについてディスカッションする。

### 【成績評価方法及び評価基準(最低達成基準を含む)】

レポートと講義中のディスカッション参加度を評価し講義のねらいを60%以上達成している場合を持って合格とする。

### 【オフィスアワー：授業相談】

火曜日5限

### 【学生へのメッセージ】

社会の新たな流れを適切にとらえそれに主体的に関与する能力を身につけてもらいたい。

### 【その他】

なし